

雑感

卒業生のひとこと

夏休み、子どもたちがいない学校で2学期の準備に取りかかる8月。

毎年顔を出してくれる卒業生の男の子がいます。こどもの森に帰ってきては、通っている中学校の話や友だちのこと、寮生活のことなどお土産話をたくさん持ってきてくれます。スタッフとおしゃべりをしたり、木工室の道具を研いで帰ってくれたりします。

今回のお土産話は、もっぱら「交流会」のこと。中国やモンゴルの子どもたちと合流し、その後ロシアへ向かい交流を持ったそうです。少し年上の友だちのこと、言語のこと、海外での外泊、外国の様子など、お土産話は盛りだくさん。

彼の話の中で、ハッと心が動いたことがありました。それは、「外国に友だちできたらな、戦争せえへんやん。」2学期のテーマ学習が「平和」ということもあり、彼の言葉にビビッときたものがあり

ました。過去の戦争から学ぶことも多々ありますが、そこからもう一歩踏み込んで、「平和をつくる」ことへ焦点を当てて子どもたちと考えてみたい…うっすらそう思っていたこともあり、彼の言葉が心に刺さりました。

今生きている子どもたちが、これから平和をつくっていく人たちになる。自分の心の平和、家族の平和、友だち、学校、日本、地球の平和と、様々なレベルの平和があります。平和を願うその過程で葛藤も無力感もきつと経験します。ただ、裏を返せば葛藤も無力感も、平和への強い気持ちがあるがゆえに湧き出てくるもの。それらを乗り越えて、どうやって平和をつくっていく？「外国に友だちできたらな、戦争せえへんやん。」自分の心でそう感じてきた卒業生の彼のことが、

これも平和をつくる手段のひとつなのかもしれません。(福田)

各種イベントのお知らせ(9月~12月)

おかあさんの自己肯定感をとりもどそう! シーズン2

「子育てハッピーアドバイス」のエッセンスをお伝えする子育てカフェです。

【実施日】第1回9月20日(水)、第2回10月18日(水)、第3回11月15日(水)、第4回12月13日(水)

【時間】10:00~12:00

【場所】箕面こどもの森学園

【講師】認定子育てハッピーアドバイザー 守安あゆみ・坂本鶴子

【対象】子育て中の方、子育てに関心のある方

【参加費】1回2,000円 4回通し参加で8,000円が5,000円に!

親と子の土曜クラス「そら」後期参加者募集!

小さいこどもの心や体の成長に必要な生活リズムを大切にしたいこどもの時間と、子育てカフェや手仕事をしながらほっこりする大人の時間、こどもも大人も自分を大切にゆったり集える居場所です。

【対象】3歳~就学前の親子

【期間】2017年10月~2018年3月 計10回(冬まつり含)

月2回(土曜日)9:00~13:45(14時解散)

※10月7日に説明会を行います。

【参加費】30,000円(継続の方は27,000円)

【場所】箕面こどもの森学園

教育カフェマラソン

さまざまな分野の方を話題提供者にお招きし、教育について語り合います。学校教育だけにとらわれず、子育てや地域・まちづくりなど、幅広い視点で考えたいと思います。

第55回9月1日(金)築城由佳さん(つきき社会保険労務士事務所代表)

第56回以降の情報はこどもの森 Facebook ページをご覧ください。

https://www.facebook.com/kodomonomorigakuen/

【参加費】500円

【場所】箕面こどもの森学園

こんな学校に出会いたかった!!

♪箕面こどもの森学園 生徒募集♪

2017年度と2018年度の小学部・中学部の生徒募集をしています! 自分も人も大切にしながら、いきいきと学べる学校に入学しませんか?



募集人数

【2017年度入学】若干名

(学年についてはお問合せください)

【2018年度入学】小学部1年生8名

中学部1年生3名(女子のみ)

見学日:月・水・木(事前申し込み必要)

体験入学:見学の後、指定日数の学習体験をしていただきます。

入学面接:ご相談の上で日程を決めます。

※見学、ご入学をご希望の方は、学園事務局までご連絡ください。

TEL&FAX:072-735-7676

メール:info@kodomonono-mori.com



アクセス:阪急北千里駅から北へ徒歩15分。小野原バス停から徒歩20分。小野原南バス停から徒歩5分。

《編集後記》

暑い夏もようやく過ぎましたが、みなさま体調は大丈夫でしょうか? こどもの森学園では会員の方々、おかあさん、おとうさん、そしてスタッフの方々が一緒になって、いろいろな活動をしています。

これからも出会いとつながりを大切に、こどもの森学園をステキな形にしていければいいなと思っています。これからもよろしくお願致します。(日置)



テーマ学習『気候変動』地球と私

低学年は「地球はみんなのいえ」の本やスタッフ創作の「ぼくはちーきゅん」のお話を聞き、「地球は今」の映像を見てから地球温暖化を体感するためにゴミ袋に入り暑さを感じたり、天王寺動物園を訪ねて飼育員さんから温暖化がもたらす動物への影響を教わりました。温暖化対策を話し合った後「もったいないステッカー」を作り、スイッチのそばや電化製品などにそのステッカーを貼り、ポスターも掲示。

高学年では温暖化に伴い世界で起きている事に目を向け、原因を知り、どのような対策が必要なのかを考えました。

「ウータン 森を考える会」「みのおアジェンダ21の会」「CASA(地球環境会議)」の方をゲストに迎えお話を聞き(低学年、中学部共)、温暖化が地球環境に及ぼす影響や、人間がその原因を作り出していることを知りました。

南極のシロクマやペンギンへの影響、サンゴの白化、絶滅危惧種の動物、雲ができる様子などをグループに分かれて調べて発表しました。中学部では多角的な視点から気候変動を見つめ、各自テーマを決めまし

ビオトープを改修しました

こどもの森学園の校庭にあるビオトープ(池)は、9年前に子どもたちの発案で作ったもの。水漏れがひどいため改修することになりました。

まず、池に棲んでいるメダカを網ですくって、タライに移しました。池の水を抜いてから、底に敷いていたブルーシートや緑石などを取り除いて準備作業は完了。

そして土曜日、子どもたちや保護者、スタッフが9時半に集まり作業を開始。池の底にベントナイト・シートを敷き、その上に土を被せました。池の縁に石を置き並べて、これでビオトープは完成。

数日後に池に注水し、メダカたちを戻してやりました。(辻)

た。動物への影響により新たな生態系ができていくという考察をする人、温暖化と降雪量の関係を調べる人、地球温暖化と医療保険の関係を調べる人などレポートにまとめて発表しました。

その後、小中合同で「地球レスキュー こどもの森会議」を箕面市立多文化交流センターで行いました。低学年によるパノラマの発表や地球レスキュー劇の後、「自分たちにできること」の提案を話し合いました。そして、電気や水道の節約、ペットボトルをできるだけ使わないことなどが決まりました。

この学習の後、家庭内でもエネルギー削減に取り組んでいることを聞き、子どもたちの思考の変化と行動力に驚き、とても頼もしく思いました。(芳仲ま)



今年も開催! 初夏の体育祭

4月に体育祭実行委員会が立ち上がり、今年は小学2年生~中学2年生までの8名が、休み時間などを使いながら、どんなプログラムにしてどうやって盛り上げていこうか計画してきました。スクールワークでファミリーグループにわかれ、各プログラムの準備を進めました。毎年の積み重ねで、話し合いも子どもたち自身でどんどん進んでいきます。

今年は、2年ぶりに復活のラジオ体操から始まり、去年なかったプログラム「ドッジボール」が加わり、また違った雰囲気での体育祭となりました。恒例のアメ食いやパン食いは、大人も子どもも一緒になって、パンをくわえ、アメをほおばり、走りぬぎ

発行日:2017年9月15日

発行者:認定NPO法人 箕面こどもの森学園

〒562-0032

大阪府箕面市小野原西6-15-31

tel&fax 072-735-7676

e-mail info@kodomonono-mori.com

URL http://kodomonono-mori.com

ユネスコスクール

Member of

United Nations

Educational, Scientific and Cultural Organization

UNESCO Associated Schools

ました。リレーでは50人まで参加OKという中、小さい人から大きい人までバトンをつないでいきました。たくさんの人に参加して頂き、みんなが真剣にそして思い切り楽しんで、大いに盛り上がり、楽しい時間を過ごしました。(藤丸)



今年の夏まつりはひと味違う!

7月7日。珍しく晴れ! きっと子どもたちのてるてる坊主のおかげでしょう。

実行委員長の「夏まつり、みんなで楽しむぞー!」の元気なかけ声で夏まつりがスタート! 早速、受付にはチケットを求めお客様の行列が。食べ物やさんは、冷やしパインと冷凍バナナ、かき氷とパバロア、クッキーのお店、たこせん。アクセサリショップでは作品販売とワークショップ。昨年、ノリノリの店員さんがすてきだったモグラたたきも、パワーアップして再登場! 毎年大人気のおばけやしきは、こわくて入れない人も。そして、中学部はなんとコスプレカフェ! 手作りロールケーキやゼリーなどが食べられるお店でした。

夏まつり終了後、保護者の方たちの手作りカレーをみんなでいただき、手をつなごう部(子どもたちの自主的なクラブ)が、この日のために練習してきた歌と踊りを披露してくれました。こうして、熱気あふれる2017年の夏まつりの夜はふけていったのでした。(守安)

夏まつり終了後、保護者の方たちの手作りカレーをみんなでいただき、手をつなごう部(子どもたちの自主的なクラブ)が、この日のために練習してきた歌と踊りを披露してくれました。こうして、熱気あふれる2017年の夏まつりの夜はふけていったのでした。(守安)



《 自由作文 》

きのうメロディのいえのまえであそんだこと

たくと (2年)

きのうメロディのいえのまえでみずでっぽうのかけあいをして、メロディとももにめっちゃかけられて、うへのふくがめっちゃぬれてさむかった。

時計を買うこと

ひなた (3年)

白の時計を、いつかわからないけど自分のお金で買う。なぜなら、お父さんが時計を買っていたから、自分も買おうと思ったから。

すごく疲れた一日

たくみ (6年)

土曜日にサッカーの練習で海に行きました。朝5時に集合して、バスで行きました。そして1時間30分かかって海に着きました。それから6時30分から8時まで砂浜で、トレーニングしてもすごく疲れました。しかも雨だったので、よけいに疲れました。でもそのあとは、ちょっと海で、遊べたので、それもまた楽しかったです。海から帰ってきたらそのまま、みんなでご飯を食べて、スポッチャに行きました。スポッチャには、昼の11時ぐらいについて、それから8時間もスポッチャで、遊んですごく疲れた一日でした。

《 プロジェクト紹介 》

ポーチ

らんこ (2年)



どうしてつくったかという、母の日のプレゼントでつくりました。つくりかたのせつめいをします。まず、ぬのをちょうほうけいにきります。すこし

あいだをあけてぬいます。あいているところからぬのをひっぱってうらがえします。つぎにあなにわたをちょうどいいくらいに入れます。つぎにはんぶんにおってぬいます。つぎにまたうらがえします。つぎにボタンをつけます。さいごにゴムをつけて、かんせいです。くふうしたところはゴムをつけるところです。むすかしかったところはゴムをこていしてくっつけるところです。

たのしかったところは、はんぶんにおるところです。反省点は、ゴムをもうちょっとこていするところです。つぎにやってみたいことはろうそくです。

《 ワールドオリエンテーション 》

身近なことから地球規模の課題まで、さまざまなテーマについて子どもたちの疑問から探求しながら学ぶ「ワールド・オリエンテーション」

1学期は『気候変動』について取り組みました。環境保全団体の方のお話や映像などを通し、気候変動への理解を深めていきます。そうして一人ひとりが関心のある個人テーマを設定し、研究していきました。テーマは自然環境の変化や影響に注目した「降雪量との関係」「異常気象」「災害への影響」、地球温暖化そのものについて考えた「地球温暖化は本当に起こっているの?」「温暖化と寒冷化」、動植物への影響を取りあげた「サンゴの白化」「動物への影響」

その他にも「地球温暖化と医療保険の関係」「ヒートアイラン

ホテルを見に行ったこと

まり (6年)

日曜日に、いとこたちとおばあちゃんといっしょに万博公園にホテルを見に行きました。そのまえに、エキスポでクシカツを食べました。クシカツに行ったらかならずするのがなにかいさいのをカリカリにして、その上に色々つけてまた油にいれてどうなるかを見ることです。今回はソースを油に入れたらすごい音になって、油がブクブクしていったい何かが分かりました。もちろんそれは、みんなが食べ、いとこたち全員でボールのガチャガチャをしました。そのボールであそんだり、水の出る所であそんだりしました。

暗くなってきて、ばんぱく公園に行きました。公園の中でけっこうあるいてホテルが見れる所に着きました。暗い道を進んでいきました。半分くらい歩いてやっと1びき出てきました。そのあととんだん数が増えていったけど、もうその時には見あきていました。

暗い中ホテルをさがして目がいたくなるし、人がいっぱいいてあるきづらいし、足もつかれるしたいへんでした。けっこう歩いてつかれてたら、道に弱ったホテルが一びきいました。ホテルが手にとって光っていたからうれしかったです。ホテルを人にふまれない所においてあげました。

クシカツは楽しかったし、ホテルも見れてよかったです。こんどは人があんまりいない所で見たいです。

コサーージュ

のぞみ (3年)



どうしてつくったのかという、つけてもらったのがうれしかったからです。つくりかたのせつめいをします。まず、はながみを6まいあつめて、モール2つつ

くります。かみをハートがたにきります。1まいです。きらきらテープをリボンにします。

くふうしたところはモールを二つつけておうちをつくったことです。むすかしかったところは、かみでハートをつくったことです。気にいっているところはしろいおはなです。つぼみとかを、もっとつくればよかったとおもいました。

わたしがつぎやってみたいのは、どこでもドアです。なんでそれをやりたいと思ったかという、どらえもんがよろこぶかなとおもったからです。

ド現象」「排気ガス対策」「エネルギーとエコ」「地球温暖化で得する人はだれ?」まで多岐にわたりました。それぞれの仮説や疑問に基づいてアンケートをとってみたい、詳しい団体に問い合わせてみたいしながら調べていきました。

学習成果を発表する日、「自分たちの生活と関連があることを知って驚いた」「初めは自分たちとどんなつながりがあるのかイメージしにくかったけれど、調べるうちに大切なことだと思った」など、子どもたちの率直な感想が出ました。「まず知って自分から行動する」「電気の使う量を減らすために家族と話し合ってみる」など、これから自分たちでできることも伝えました。

地球規模の課題を自分たちとのつながりを感じながら、少しずつ子どもたちの目線でも解いていくような学期になりました。(高原)

認定NPO法人箕面こどもの森学園の事業活動 4月~8月

中国の教育、文化を肌で感じた1週間

国連大学のプログラムでACCU(ユネスコ・アジア文化センター)がコーディネートをする中国政府日本教職員招へいプログラムに参加し、文部科学省職員・国連大学職員・その他の教職員の方々総勢25名で中国を訪れ、約1週間過ごしました。

北京や上海だけでなく、安徽省合肥市という地方都市も訪れ、政府機関や学校を訪問したり文化施設を見学したりして、中国の教育や文化を肌で感じ、子どもたちと接し、教職員と対話することができました。

日本の教職員の方々とも多くお話する機会があり、非常に多くのことを学び、つながりができ、報告会には同じ参加者だった大阪府立渋谷高校の先生にもお越しいただきました。

この先、中国との交流も実現していけるようにこの経験を活かしていきます。(佐野)



教職員韓国訪問プログラムに参加して

7月11日~17日まで、ユネスコ・アジア文化センター、国連大学などが主催する日本教職員韓国訪問プログラムに参加しました。ソウルにある安川小学校では、世界市民教育に力を入れて取り組まれており、今回の目的の一つでもある、韓国の地球市民教育(GECD)や持続可能な開発のための教育(ESD)の理解につながる体験をしました。また小学3年生のクラスでは日本文化授業を行い、こどもの森の高学年クラスの人たちに協力してもらって染めた風呂敷を紹介し、韓国の子どもたちに手渡してきました。ほかにも、忠清北道の教育庁の訪問、ユネスコ世界遺産巡り、学生のお宅へ伺い、

交流を深めるホームビジットという時間を過ごしました。(藤丸)

つながってわくわく!感謝の集い

7月23日(日)に本年度の「会員感謝の集い」を開催しました。今回の1部では、わくわく子ども学校の立上げに尽力していただいた3名の方に登壇いただき、どんな思いで学校づくりに関わり、今の活動にどう活かしているかについて、和気あいあいの雰囲気の中で共有できました。

2部はお酒をのみながら会員間の懇親を深め、保護者で立ち上げた「おやじバンド」がデビューするなど、1日とても楽しい時間を共有することができました。(井上)



Manabeeの活動

今年度から、約半年間の「学び場コディネーター Manabee プログラム」がスタートしました。主婦の方、公立学校の先生、企業にお勤めの方など、約20名の方が参加しています。8月までの前半は、「自己肯定感」「自己決定」「対話」「ESD」について、箕面こどもの森学園が子どもたちと向き合いながらつくってきたものをお伝えし、一緒に深めていきました。

後半は、一日子ども体験や実際に学園の子どもたちに向けて共育プログラムを行う実践編となります。

8月19、20日の合宿。「対話」のセッションでは、大人の役割として「あり方」や「自分との対話」が大切になることなどをお伝えした後、対話をしながら、グループのメンバーの紹介をする発表を考えました。自分の内面を話す深い時間や、それぞれの個性をみつけていく作業や、強み(良さ)を見出していった時間や、前日までのお仕事でお疲れの方も大きく包む、ゆったりとし

た時間が流れていきました。

後半の実践編で、参加者のみなさんが何に気づき何を持ち帰ってくださるのか、今から楽しみです。(藤田)



子育てカフェ”おかあさんの自己肯定感をとりもどそう!”

子育てカフェを通して多くのおかあさんが気づかれるのは、「わたし自身の自己肯定感が低かった」ということでした。子どもが「自分は自分でいいんだ」と思えるためには、まず周りの大人が「自分は自分でいいんだ」と思えること。そこで今年度は周りの大人、特におかあさんの自己肯定感を取り戻すためのお手伝いをさせていただくための、4回シリーズの講座を開講しました。

1、2回目は「悩み」に焦点を当て、参加者同士で悩みを聴き合ったり、「悩みとは何か」について哲学しました。3回目は「人生の悲劇はいい子から始まる」と題し、「期待」に焦点を当てて学びました。4回目は参加者同士で相手の良いところを伝え合う「承認のワーク」をしました。また、随所にこどもの森のエッセンスをちりばめたワークを取り入れたことで、参加するだけで自然と自己肯定感が育まれる雰囲気があるようでした。

今回の講座はとても好評で、キャンセル待ちが出るほど。9月からはシーズン2がスタートします。詳しくはHPをご覧ください。(守安)

